

商業地

基本目標

歩いて楽しい、個性とにぎわいのある景観

駅前の商業地では、安全で快適な歩行空間の創出と、個々の建物の個性を生かしながらもまとまりある街並み景観の形成を目指します。また、幹線道路沿いでは、美しい沿道景観の形成を目指します。

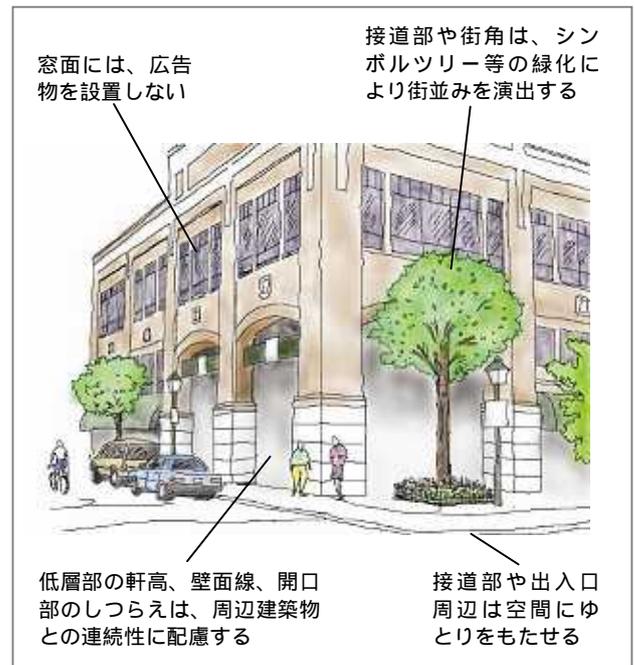
基本方針

商業・業務地の中心である大和駅周辺では、駅前広場やプロムナードと一体となった、にぎわいの感じられる景観づくりを進めます。

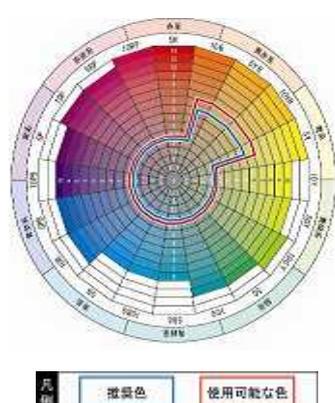
その他の駅周辺においては、駅から広がる生活圏の玄関口にふさわしい、身近で親しみある商業地の景観を目指します。

全国的に規格化されたデザインの店舗が多く、雑然となりがちな幹線道路沿いでは、空地の確保や緑化等によって、魅力的な沿道景観を目指します。

共通			
商業地	複合市街地	住宅地	田園・緑地



景観形成方針

敷地利用	接道部や出入口周辺は、空間にゆとりを持たせる。 店舗等の搬入口や倉庫等は、前面道路からの見え方に配慮した配置とする。												
建築物等の外観 (色彩を除く)	低層部の軒高、壁面線、開口部のしつらえは、周辺建築物との連続性に配慮する。 高層建築物にあっては、周辺からの見え方に配慮した頭頂部のデザインとする。												
建築物等の色彩	<p>にぎわいを感じさせる色彩を取り入れながらも、基調となる部分では中・低彩度色を基本とし、“品格と秩序が感じられる色彩景観”とする。</p> <p>隣接する建築物等と色相や明度、彩度を協調する。</p> <p>建築物および工作物の色彩（基調色）は、次の範囲を推奨色とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>色相</th> <th>明度</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0YR(10R)~5Y</td> <td>3以上</td> <td>5以下</td> </tr> <tr> <td>上記以外の有彩色</td> <td>3以上</td> <td>2以下</td> </tr> <tr> <td>無彩色</td> <td>3以上</td> <td>0（使用可）</td> </tr> </tbody> </table> 	色相	明度	彩度	0YR(10R)~5Y	3以上	5以下	上記以外の有彩色	3以上	2以下	無彩色	3以上	0（使用可）
色相	明度	彩度											
0YR(10R)~5Y	3以上	5以下											
上記以外の有彩色	3以上	2以下											
無彩色	3以上	0（使用可）											
接道部・緑化 (生垣、フェンス)	接道部や街角は、シンボルツリー等の緑化により街並みを演出する。 接道部の舗装については歩道との連続性に配慮し、一体的な歩行者空間を形成する。												
広告物	テナントビル等では、集合化する。 窓面には、広告物を設置しない。												
夜間景観	照明施設やショーウィンドウ等により、夜間景観を演出する。												